

西多摩医師会報

1985年10月1日

155号

発行所・社団法人 西多摩医師会

編集委員・村山 正昭

荒巻 武彦

小林 杏一

石井 好明

堀田 洋夫

東京都青梅市西分3-103

TEL.(0428)23-2171(代)

栗原 琢磨

渡辺 良友

福生市医師会休日診療所開設10周年を祝う

1985. 10. 26 幸楽園

司会 林、森理事



表彰をうける山田正哉夫人三枝さん

福生市医師会休日診療所開設10周年 祝賀会開催にあたって

福生市医師会長 西村 邦 康

一言御挨拶申し上げます。

本日は、田村市長さん始め御来賓の皆様には公私とも御多忙の所御来臨を賜り誠に有難う御座いました。厚く御礼申し上げます。

福生市医師会休日診療所も開設以来10年を経て本日皆様と祝賀の会を開くことが出来ますのは望

外の喜びです。ふりかえって、開設当時を思い出しますと、当時の世情は、今日の新聞が毎日のように取り上げている教育の「イジメ」の問題と全く同様に『医は算術』『救急患者のたらいまわし』と医療不信のキャンペーンがマスコミを賑わしていた頃です。そんな状況の中で福生市医師会は、

(2)

本来の医師の姿を示し、マスコミによって作られつつあった誤った医師像を払拭するよう努力しておりました。そこで市民から要望が強かった救急医療の問題を種々と検討し、あるべき救急の代系を提示し市民の理解をえ市民とのコミュニケーションを良くしようと考えました。

その具体的なあらわれが、今日10周年を迎えた福生市医師会休日診療所です。

1) たらいまわしをししない救急体系

2) 医師会員全員が参加して市民に奉仕する。

云うなれば現在喧伝されているプライマリケアの実践で一次(急病)は診療所、二次(救急)は病院、このベットの確保された救急体系が、しかも、それが公共的なものとして確立されたのです。この救急体制の発足は、急病も救急もごっちゃに混同されて混乱していた当時の救急体系(救急病院=交通事故患者収容)と考えられていた当時にとっては、画期的なことで他地区から大変な評価を得ました。

この事は先輩石川・上田・山田・内山諸先生方の指導と石川前市長の良き御理解の賜と深く敬意を表します。以来10年その間都の救急体制の整備もあり初療一次・二次・三次と体系が変わり病院は都の体系の中に組みこまれ、又休日診療所も新設の健康センターの中に移転しました。この10年の間毎休日・日に医師会員及び看護婦さんが出勤し1万4千人の患者の診療を行い(表I)、しかも一件の医療事故も起すことなく今日まで経過したことは、市民の健康保持にいささかなりとも貢献した、と福生市医師会は自負しております。これもひとえに市役所はじめ関係機関の皆様、調剤薬局の先生、医師会員、看護婦の皆様方の尽力の賜と厚く御礼申し上げます。

豊かで成熟社会にはいった今日では、年々受診者も減少しており救急問題も沈静化しております。この事実は市民の健康意識の向上にもよりますが公共サービスとして休日急病体制が確保され、いつでも診てもらえるという安心感が市民に滲透し過剰反応を起さなくなってきたということも考えます。この安心感こそ、国民が市民生活を営む上で何よりも大切なことと思えます。

地球よりも重いといわれる命を守る。即ち健康保持、健康増進に最小限の公的サービスの整備が、いかに必要か、又我々医師会の果す役割の重要さ

を痛感いたします。

80オライフサイクルの時代に入り、「財政錯誤」の名のもとに年金医療が抑制されはじめている今日、公的サービスとの整合性の模索が医師会に課せられた今日の医療の課題と考えます。

休日診療所10周年を期して我々医師会員も心を新に市民の健康保持増進に尽したいと考えております。今後とも御後援御鞭撻を心からお願い申し上げます。甚々簡単ですが挨拶といたします。

10周年の歩み

休日診療所長 星野 稔

石川前市長、山田正哉先生の御尽力により50年7月1日に市役所庁舎内に開設されたのち、何回かの討議を重ね、現在のセンター方式がうち出されました。53年11月からは現在の健康センターで診療を行っており、医師会としては全員の協力のもとに真剣にとり組んできました。

歴代の開設者・管理者は表Ⅱのごとくであり今後もこのセンターが市民の健康を守る、信頼できる診療所であるよう祈念しております。

表彰者

山田正哉、武藤智恵子、稲生律子、坂元善治
祝 辞 田村匡雄 福生市長

開設10周年にあたり、山田先生をはじめ医師会員の御協力と、市民の健康管理に御尽力下さる皆様に深く感謝の意を表します。10年は早いもので市役所内に開設された休日診療所がセンター開設へと発展し、市民が安心して診療を受けられるようになったことは大変意義深いことであります。

この数年市民の健康管理、医療行政に対する関心はしだいに高まる傾向にあり、これに答える施策を行うためにも医師会の御指導を切に望むものであります。

祝 辞 瀬戸岡 進 西多摩医師会長

休日診療としてのセンター方式は福生には始まり、秋川、青梅とその形態は異っても出発点となるもので、時代を先取りした先見性に深く敬意を表するしだいです。

最近医療法の改正という重大な局面をむかえ、当西多摩医師会においても地域医療計画を策定し、今後の各自治体における医療計画の指針となるよう鋭意努力を傾けている現状であります。休日診療所が会員の協力と市当局の援助により発展されんことを期待いたします。

祝 辞 仲村清信 福生市議会副議長
 10年前に石川前市長の英断と医師会の協力で休日診療所が充足し現在に至ったことに敬意を表します。行政として、医療施設の充実は長寿国となりつつあるわが国にとって不可欠の要件であり、身体的な管理のみならず、精神面での御指導をもご検討願いたいと存じます。今後の発展を祈念しつつお祝い申し上げます。

閉会の辞 中村 武 福生医師会副会長
 思い出すと10年の歩みは感無量のものがあります。医師会員の皆さんは勿論のこと、お二人の看護婦さんにはその献身的な努力に深い感謝の意を表するものであります。皆さんと一緒に地域医療に貢献できたことを誇りに思うとともに、今後も会員の一致協力のもとに開所当時の理念を生かして脱皮をはかりたいと考えます。

休日診療所年度別業務状況

表 I

| 年度 | 回 数 | 第 一 次 | | | | | 第 二 次 | | | | | 計 | | | 従 事 者 | | |
|----|--------|-------|-------|-----|--------|----------|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-----|--------|-------|-------|-------|
| | | 内 科 | 小児科 | その他 | 小 計 | 投業 状況 | 内科 | 小児科 | その他 | 小計 | 内 科 | 小児科 | その他 | 計 | 医師 | 看護婦 | 計 |
| 50 | 53 | 674 | 1,168 | 0 | 1,842 | 900 | 5 | 6 | 0 | 11 | 679 | 1,174 | 0 | 1,853 | 53 | 106 | 159 |
| 51 | 68 | 559 | 1,117 | 0 | 1,676 | 1,239 | 15 | 12 | 0 | 27 | 574 | 1,129 | 0 | 1,703 | 68 | 136 | 204 |
| 52 | 68 | 866 | 1,227 | 304 | 2,397 | 1,244 | 13 | 20 | 11 | 44 | 879 | 1,247 | 315 | 2,441 | 62 | 124 | 186 |
| 53 | 68 | 491 | 1,211 | 0 | 1,702 | 1,139 | 27 | 11 | 2 | 40 | 518 | 1,222 | 2 | 1,742 | 62 | 124 | 186 |
| 54 | 69 | 294 | 938 | 0 | 1,232 | 1,051 | 23 | 10 | 1 | 34 | 317 | 948 | 1 | 1,266 | 63 | 126 | 189 |
| 55 | 69 | 208 | 724 | 0 | 932 | 815 | 10 | 6 | 0 | 16 | 218 | 730 | 0 | 948 | 69 | 138 | 207 |
| 56 | 61 | 226 | 640 | 0 | 866 | 754 | 34 | 42 | 0 | 76 | 260 | 682 | 0 | 942 | 61 | 122 | 183 |
| 57 | 62 | 264 | 666 | 0 | 930 | 696 | 12 | 9 | 0 | 21 | 276 | 675 | 0 | 951 | 62 | 124 | 186 |
| 58 | 68 | 456 | 753 | 0 | 1,209 | 662 | 7 | 7 | 0 | 14 | 463 | 760 | 0 | 1,223 | 68 | 136 | 204 |
| 59 | 69 | 356 | 659 | 0 | 1,015 | 649 | 6 | 7 | 0 | 13 | 362 | 666 | 0 | 1,028 | 69 | 129 | 198 |
| 計 | 655 | 4,394 | 9,103 | 304 | 13,801 | 9,149 | 152 | 130 | 14 | 296 | 4,546 | 9,233 | 318 | 14,097 | 637 | 1,265 | 1,902 |

表 II

福生市医師会休日診療所 (開設年月日 昭和50年7月1日)
 (診療開始年月日 昭和50年7月6日)

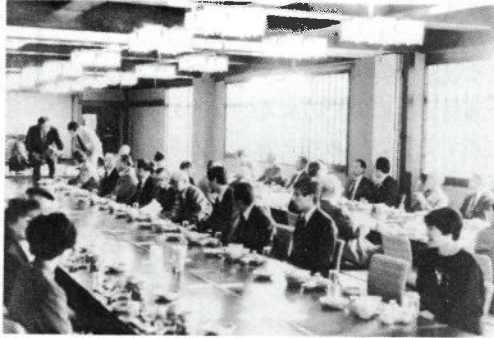
初代開設者 山 田 正 哉 初代管理者 山 田 正 哉
 二代 " 内 山 大 二代 " 内 山 大
 三代 " 西 村 邦 康 三代 " 星 野 稔

現運営委員(昭和60年)

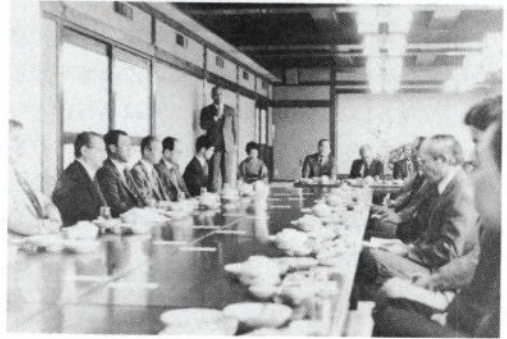
中 村 武 木野村 幸 彦 林 実
 堀 内 素 森 和 胤 米 谷 豊 光
 三 井 久 男 山 口 太 平

看 護 婦

武 藤 智 恵 子 稻 生 律 子



開宴前のひととき



祝辞をのべる瀬戸岡会長

記念式典に引き続き、森先生の司会で祝賀会にうつり、60余名の参加者は杯をくみかわしながら10年間の思い出と、現在の苦衷、将来への展望を率直に話しあった。

そして医師会と行政・市民が気軽に話しあうことが医師会の未来を切開くことであり、医師会と行政は決して相対立するものではないことを理解

しあったようである。

宴たけなわとなると、恒例のように池田 聖先生が手品の妙技を披露され、伝統ある福生医師会の集まりに花をそえておられた。土曜日の午後とはいえ参会の皆さんはこの式典の意義を十分理解された面持ちで、木野村先生の閉会の辞も名残りおしく散会していった。(取材 村山)

各部より

インフルエンザ ワクチンは効いているのか？

インフルエンザ ワクチンは臨時の予防接種として、法により多くの費用と人手をかけ主として保育園・小・中学生を対象に接種されているが、近年インフルエンザの流行をみなかった年はなく、又100%近い接種率のクラスも閉鎖が行なわれたりして、学校現場ではワクチンの効果に疑いを抱きたくなるような現象を度々見聞きする。ワクチン株と流行株の抗原性が一致した場合、ワクチンの効果については疑う余地もないが、流行株の抗原変異は予想外に大きく、インフルエンザ ワクチンの効果が定まらないのは、主としてウイルスの側にあることには違いない。理論的には有効であるべきワクチンが、実際には余り効いていないという印象が大きいのも否めず、我々は58年A香港型・59年Aソ連型流行の折、ワクチン接種と罹患率について小・中学生を対象にして調査を行った。

公衆衛生部 松原 貞一
佐々木 章 野本 正嗣
林 実 森 和胤
湯川 文朗

59年Aソ連型の流行は、流行の山を越えた時期の調査で罹患率も低く出たが、58年A香港型流行時は流行極期の調査であり、その罹患率は新潟県衛研の抗体価による感染率と殆んど変らなかつた。59年A香港型時の調査でも、確かに接種群の方が非接種群に比べて罹患率は低くかったが、その差は高々10数%であり、効果の有無は有意差検定の必要がある程であった。他の不活化ワクチンである日本脳炎・3種混合ワクチンは、接種体制が確立されると、対象疾患はみるみる減少し、誰の目にもその効果は明らかであるのに、ひとりインフルエンザ ワクチンのみ毎年の接種にも拘らず、流行は年中行事となっている。昨年秋にはB型ウイルスが分離され、大した流行にはならないのではという専門家の予測に反し、今年1月に入りB型インフルエンザは爆発的な流行となり、東京都の患者発生数は219,586人は昨年Aソ連型流行時の

| | 2回接種群 の罹患率 | 非接種群 の罹患率 |
|----------|---------------|--------------|
| 58年(A香港) | 24.8% | 38.1% |
| 59年(Aソ連) | 16.9% | 17.1% |

8倍となった。流行が大きかったということは、逆に言えばワクチンの効果がなかったということであり、我々は今年もインフルエンザ ワクチンの効果についての疫学調査を行なった。

調 査 方 法

従来は流行の極期を中心に或る期間を区切り、その間インフルエンザ様疾患で欠席した児童のワ

クチン接種歴との関係を調査したが、特に流行の始まりや終り頃にはインフルエンザ以外の感冒疾患の混入が否めず、罹患率調査に不確実性の因子を避けられない欠点があった。そこで今回は学級閉鎖時欠席した児童は殆んどインフルエンザであった筈であるので、この欠席児童を対象にワクチン接種との関係を調査した。

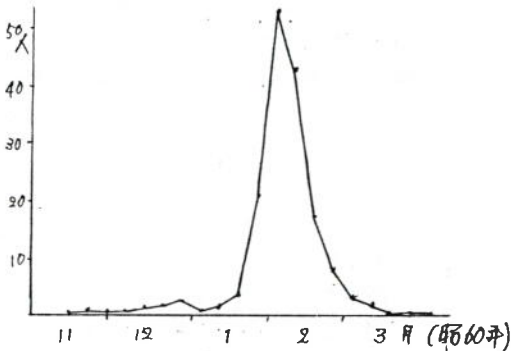


図1 東京都感染症サーベイランス1定点当りインフルエンザ様患者数

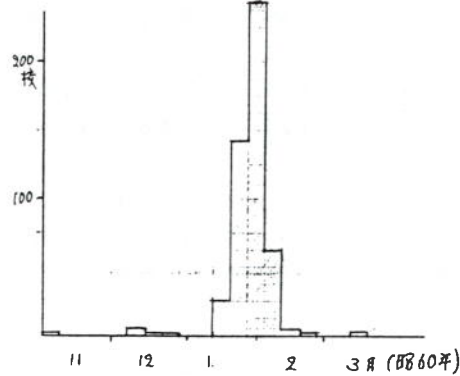


図2 東京都西多摩郡内小中学校閉鎖学級数

調査期間は流行の極期であった1月及び2月とした。西多摩郡内全小・中学校に予め調査を依頼し、学級閉鎖時欠席した児童の1人1人チェックしてもらい、他の感冒性疾患・腸管ウイルス感染

症等を除外、38℃以上の発熱を主訴として欠席した者のみを調査に入れた。全体としてインフルエンザの罹患率としては多少高率に出る欠点は否めなかったが、対象を確実にインフルエンザと絞れる利点より、ワクチン接種有無による感染率の差をみるには可成り有効な調査であった。

調 査 結 果

表 1

| 小学校名 | 閉鎖 手続 | 左の接種歴 の罹患率 | | | 右の接種歴 の罹患率 | | | | |
|----------|----------|---------------|-----|-----|---------------|-----|-----|-----|----|
| | | 2回 | 1回 | 非接種 | 2回 | 1回 | 非接種 | | |
| 福生 第一小 | 7 | 149 | 93 | 41 | 15 | 295 | 190 | 67 | 34 |
| 〃 二 | 11 | 167 | 89 | 38 | 41 | 412 | 275 | 71 | 67 |
| 〃 三 | 10 | 172 | 127 | 28 | 17 | 385 | 284 | 153 | 33 |
| 〃 四 | 3 | 29 | 20 | 2 | 7 | 115 | 90 | 10 | 15 |
| 〃 五 | 4 | 37 | 28 | 7 | 2 | 154 | 124 | 18 | 12 |
| 羽村 松林小 | 12 | 215 | 148 | 24 | 43 | 464 | 345 | 45 | 74 |
| 〃 富士見 | 8 | 71 | 77 | 23 | 41 | 306 | 179 | 55 | 72 |
| 蓮根 第二小 | 1 | 20 | 17 | 2 | 1 | 32 | 28 | 3 | 1 |
| 胃橋 第一小 | 7 | 87 | 86 | 1 | 0 | 287 | 260 | 6 | 1 |
| 〃 六 | 10 | 148 | 70 | 13 | 10 | 325 | 254 | 42 | 33 |
| 〃 七 | 12 | 94 | 61 | 22 | 10 | 422 | 308 | 73 | 39 |
| 〃 十 | 3 | 11 | 11 | 0 | 0 | 27 | 27 | 0 | 0 |
| 〃 新町 | 1 | 18 | 12 | 6 | 0 | 43 | 26 | 13 | 4 |
| 〃 文田 | 5 | 157 | 137 | 14 | 6 | 179 | 104 | 49 | 23 |
| 奥多摩 古蓮小 | 7 | 124 | 114 | 6 | 4 | 146 | 128 | 6 | 9 |
| 〃 水川 | 4 | 29 | 29 | 0 | 0 | 131 | 125 | 1 | 5 |
| 〃 小河内 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 5 | 5 | 0 | 0 |
| 秋川 鹿城小 | 7 | 64 | 50 | 2 | 12 | 266 | 224 | 210 | 41 |
| 〃 坂田 | 4 | 57 | 47 | 2 | 8 | 131 | 104 | 8 | 19 |
| 〃 南秋留 | 11 | 90 | 73 | 5 | 12 | 405 | 322 | 28 | 65 |
| 〃 多西小 | 6 | 49 | 36 | 1 | 11 | 219 | 160 | 148 | 35 |
| 〃 一の谷 | 7 | 164 | 149 | 8 | 24 | 211 | 170 | 182 | 32 |
| 五日市 五日市小 | 11 | 105 | 91 | 8 | 6 | 424 | 384 | 22 | 18 |
| 〃 増戸 | 5 | 62 | 50 | 8 | 4 | 204 | 182 | 10 | 12 |
| 日の出 平井小 | 5 | 67 | 56 | 4 | 7 | 169 | 143 | 14 | 13 |
| 〃 本宿 | 13 | 268 | 224 | 17 | 27 | 517 | 443 | 29 | 47 |

表 2

| 中学校名 | 閉鎖 手続 | 左の接種歴 の罹患率 | | | 右の接種歴 の罹患率 | | | | |
|-----------|----------|---------------|-----|-----|---------------|-----|-----|----|----|
| | | 2回 | 1回 | 非接種 | 2回 | 1回 | 非接種 | | |
| 福生 一中 | 1 | 12 | 9 | 2 | 1 | 44 | 31 | 9 | 4 |
| 羽村 一中 | 5 | 48 | 41 | 3 | 3 | 205 | 181 | 10 | 14 |
| 瑞穂 中 | 10 | 216 | 191 | 11 | 14 | 416 | 368 | 21 | 26 |
| 〃 二 中 | 2 | 64 | 48 | 11 | 5 | 79 | 57 | 15 | 7 |
| 胃橋 三中 | 7 | 60 | 54 | 2 | 4 | 290 | 263 | 9 | 18 |
| 〃 七 中 | 2 | 21 | 21 | 0 | 0 | 63 | 60 | 2 | 1 |
| 〃 新町中 | 2 | 17 | 11 | 5 | 1 | 82 | 60 | 13 | 9 |
| 〃 鹿台中 | 8 | 161 | 141 | 7 | 12 | 312 | 267 | 21 | 24 |
| 奥多摩 古蓮中 | 2 | 53 | 51 | 1 | 1 | 69 | 67 | 1 | 1 |
| 〃 水川中 | 2 | 48 | 48 | 0 | 0 | 60 | 60 | 0 | 0 |
| 秋川 秋多中 | 1 | 11 | 9 | 2 | 0 | 38 | 36 | 2 | 0 |
| 〃 真 中 | 2 | 70 | 52 | 5 | 13 | 83 | 54 | 6 | 13 |
| 〃 瑞室中 | 5 | 62 | 20 | 22 | 20 | 205 | 115 | 36 | 65 |
| 五日市 五日市南中 | 1 | 21 | 19 | 0 | 2 | 38 | 35 | 1 | 2 |
| 〃 増戸中 | 11 | 299 | 263 | 3 | 13 | 445 | 422 | 5 | 18 |
| 日の出 大久保中 | 4 | 131 | 129 | 1 | 1 | 179 | 175 | 2 | 2 |
| 瑞穂 瑞穂中 | 3 | 28 | 26 | 0 | 0 | 66 | 64 | 1 | 1 |

西多摩地区全小・中学校にアンケート調査を行ない、回収率は
 小学校 25校(40%)
 中学校 17校(57%)
 であった。

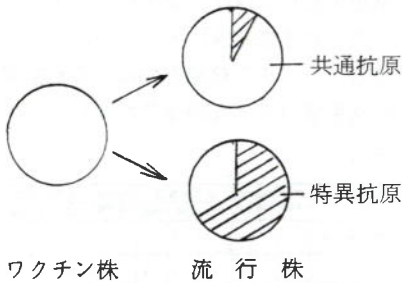
閉鎖学級児童の予防接種歴

| 接種歴 | 総児童数 | 罹患児童数 | 罹患率 |
|-------|------|-------|-------|
| 2回接種群 | 7199 | 3050 | 42.3% |
| 1回接種群 | 1637 | 357 | 21.8 |
| 非接種群 | 927 | 398 | 42.8 |

閉鎖学級の欠席児童を対象とした限りでは、今回B型インフルエンザの流行時ワクチンを2回完全接種をした群と非接種群の間に罹患率の差は全く認められなかった。

ま と め

インフルエンザ ウイルスの抗原性は、A香港とかAソ連型という不連続変異の外、同じAソ連型の中でも年毎に連続変異を遂げている。



流行株の変異が少なくワクチン株との間に共通抗原が多い場合には、ワクチンの効果については疑う余地がなく、昭和44年A香港型流行時には関口らの抗体測定による感染率調査では、非接種群の感染率27.5%に対し接種群では僅かに5.5%であり、感染防御率は80%であったという。しかし近年の流行株抗原性調査をみると連続変異度も可成り大きく、時には全く違う型のウイルスではないかと思う程のことさえある。従って特異抗原の占める割合が大きく、ワクチン株との共通抗原が少ない場合には、ワクチンの効果に期待が出来ないのは当然である。

抗体価別にみた感染率(%)

| | <32 | 32 | 64 | 128 | 256 | 512 | 1024 |
|-----------|-----|-----|----|-----|-----|-----|------|
| 52年度(Aソ連) | 72 | 46 | 38 | 21 | 0 | 0 | 0 |
| | 60 | 100 | 54 | 54 | 5 | 0 | 0 |
| | 86 | 77 | 71 | 66 | 35 | 10 | 3 |

又新種の型が流行し始めた時は感染防御可能抗体も低い、同型の流行が年を経るに連れて、防御可能抗体価も上昇し、1024倍でも完全に防御出来なくなることも、ワクチンの効果が小さくなる一因である。

都民のインフルエンザHI抗体128倍以上の保有率

| | 58年6月7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 1259年1 | 2 |
|------|--------|----|----|----|----|--------|----|
| Aソ連型 | 29 | 22 | 15 | 31 | 19 | 27 | 37 |
| A香港型 | 39 | | 11 | 13 | 20 | 33 | 30 |
| B型 | 6 | 1 | 3 | 2 | 1 | 7 | 2 |
| | | | | | | 13 | 9 |

一般住民の感染防御可能抗体(仮に128倍とする)保有率は、秋予防接種が行なわれても高々30%であり、流行が起ると1月のAソ連型のように高値抗体保有率は高くなるが、一般的には流行阻止するには余りにも低く、特にB型については低く、60年大流行の原因となったと考えられる。

抗体測定よりみた感染率と接種率(%)

| | 接種群 | 非接種群 |
|---------|------|------|
| 47年A香港型 | 20.7 | 38.4 |
| 51 " | 34.8 | 56.6 |
| 56年Aソ連型 | 21.2 | 38.7 |
| 57年B型 | 28.9 | 35.4 |
| 58年A香港型 | 7.8 | 42.6 |
| 59年Aソ連型 | 33.8 | 51.6 |

表は各県の衛研を中心にして行った調査報告を並べたものであり、平的すると接種群の罹患率は24%で、非接種群の41%に比べると確かに低いが、その差は我々の58年度の調査同様10数%である。インフルエンザ ワクチンの効果は3ヶ月を過ぎると落ちて来ることから、秋10月に接種をすると2月流行時には効率が悪くなる。又ワクチンの効果を確実にするには、接種間隔は4週間がよい

とされているが、行政のスケジュールの関係で2週間前後で接種されている場合が多いのも、ワクチンの効果を不確実にしている一因である。

結論としてワクチンの接種方法などにも原因があるにせよ、インフルエンザ ワクチンの予防効果の不確実となる最大の原因はウイルスの抗原変異性によるもので、1年後に流行するであろうウイルスの抗原性の予測がもう少し確実なものにならない限り、インフルエンザ ワクチンの効果についての疑念は当分続きそうである。

文 献

1. 園口忠男「インフルエンザワクチンの予防効果」日医新報No.3008:14 昭56
2. 芝田充男他「インフルエンザワクチンの抗体産生と予防効果」日医新報No.3006:43 昭56
3. 竹田斌郎他「奈良市立の学校・幼稚園でのインフルエンザ流行とワクチン接種効果」日医新報No.3142:43 昭59
4. 芝田充男他「インフルエンザワクチンの予防効果」日医新報No.3200:43 昭60
5. 飛田清毅「インフルエンザウイルスの変異とワクチン」臨床ウイルス臨時増刊号85 昭53
6. 福見秀雄編 インフルエンザワクチン 医学書院 昭57
7. インフルエンザワクチン研究会 第21回 討論会記録 細菌製剤協会 昭57
8. 伝染病流行予測調査結果報告書 昭56年～59年 東京都衛生局
9. 最新接種の知識 細菌製剤協会 昭60

学 術

一般大衆向け学術講演会開催される

7月11日コ・メデカル向けに学術講演会を行ったが、更に対称を一般大衆に拡げ第一回西多摩医学講演会を9月27日(金)午後7時30分より2時間、羽村町コミュニティセンター「じゅらく苑」ホールにて、東邦大学医学部心療内科教授筒井末春先生をお招きし行なわれた。出席者は医師会員25名(A会員20名、B会員5名)保健所・学校・自治体18名(保健所2名、学校11名、自治体5名)一般35名(羽村町23名、青梅・福生市各3名、秋川市・瑞穂町各2名、昭島市・五日市町各1名)計78名であった。

講演内容は一般大衆に焦点を絞り、やさしく、わかりやすく、健康についてのW. H. O. の定義より始まりストレスの定義、種類、多くの病気とのかゝりかた。ストレスの実態やその対処法について解説され、とくにメンタルヘルスケアの重要性について強調された。

アンケート調査の結果は —

〈質問1.〉 主たる講師の講演について

- イ. 大変よかった 42名
ロ. よかった 14名
ハ. 期待したほどでなかった 1名

〈質問2.〉 今後開催を希望されるテーマと講師は

- ◎スポーツとけが、関東労災病院の先生
- ◎医師会と市民 日本医師会長
- ◎食生活とストレスの相関関係?
- ◎子供と成人病
- ◎予防医学、子供・成人・老人
- ◎老後ボケ
- ◎運動生理
- ◎運動による思わぬ事故とその予防
- ◎成人病
- ◎鼻炎やアトピー・喘息等について
- 〈質問3.〉 その他の御意見、御希望、御感想
- ◎この様な企画を継続して欲しい 5名
継続して最低年に一回はして欲しい 3名 8名
- ◎大変わかりやすく、聞きやすかった 5名
- ◎PR不足ではなかったか、良い話だったのに、 3名
- ◎開催の時間帯を早くして欲しい(幼児がいるため) 2名
- ◎レジュメを配布して欲しかった 2名
- ◎子どもとストレスを中心におき、したい 1名
- ◎地域医療推進集団として、医師団が組織的に考えて下さっていることは地域住民としてこんなに嬉しいことはありません。今夜の試みなど、本当によい企画・内容でした。十分記録も出来

ましたので地域の組織に伝えて行きたいと思えます。羽村町の医師の方々とも今後もうすこし親しくお話しが出来ますことを期待します。この先生方も都消費者センターとの関連を是非深めて、子どもの成人病の対応をお願いします。

◎「ストレスと健康」本当に1時間半があつと云う間に過ぎてしまいました。何となくストレスと云う言葉は井戸端会議の時にも口から出ますが、本当の所はあまり知らない事、全く知らなかった事がわかり良い勉強になりました。

現在、姑と一緒にくらしており、その方のストレスはあるみたいですが、今後は今日のお話を参考に自分自身を大切にしたいと思います。

◎今年に入って、どうしようもない位に、ストレスがたまり自分でも、ノイローゼになりそうでスポーツをしたり、趣味の事をしたりしました。今日のお話しをうかがい思いあたる事が多く、大変参考になりこれから生きていく為にも、良いお話しを聞かせていただいたと思います。自律神経の事も聞かせていただけたらと思います。

◎将来は医学だけでなく高令化社会になります故、高令者に対する様々な問題を特にお願ひします。

羽村町の健全なる家庭を青少年の育成を考える時にこの問題を絶対なおざりには出来ないと思えます。

以上の如くアンケートによれば、地域住民の方から大変喜ばれ今後もこの様な事業の開催を熱望されていることがわかった。今後の医師会のあるべき姿の一面を示唆された。こちらから積極的に地域住民の中に飛び込み我々の使命を果すべきである。PR不足で聴衆が少なかつたことは残念であった。150名を目標に種々手を打つたのだが……。1学術部だけでなく、関連のある各部がそれぞれの機能を発揮し、横の連絡を密にし協力し合つて行くことが一層必要であると考え。期待したほどでなかつたが1名あつたことは、焦点が大眾であつたため、己を得ないものと思うが難かしいものである。

兎も角、今回の試は有意義であつたと思う。尾切れトンボにならず、医師会の定例事業として継続し、地域住民のために、又、医師及び医師会のイメージアップに役立つように今後とを知恵を絞り活動されることを祈る次第である。

(文責 塩澤 永康)

文芸・随筆

ヨーロッパ 2 週間の旅

石井好明

§ ナイス・ランディング

我々の乗つたエール・フランスのボーイング747は、何のショックもなく、成田空港に着陸した。客席の中から、「ナイス・ランディング」という声の上り、拍手が起つた。これは、日航機墜落事故の直後だつたためなのか、いつもこうなのか、余り飛行機に乗つたことがない小生には、わからない。

落ちたばかりだから、直ぐ落ちる確率は少なからう、第一、これに乗らなきゃ帰れない、と自らの運を信じて、前日、ドゴール空港を飛び立ち、次々と運ばれる食べ物、のみ物を平げたり、居睡りしたり、アメリカの野球物語の映画に見入つたり、ハッと気付いて、眼下に広がる大氷原に、これが北海道かと感激したりしながら、ヨーロッパ 2 週間の旅を終えたのだった。機外に出た途端、

ムーッと湿つた熱気に包まれ、日本の夏に戻つたのだと実感した。(あちらでも暑かつたが、汗はかかなかつた。)

世の中、いろいろな商売があるもので、全国の病院職員の海外研修を取り扱つて、見学先の病院や学会まで世話してくれるサンマーク・トラベル社の「夏期欧州医療視察団」というのに参加して、西ドイツ、オーストリア、スイス、フランスを、添乗員とガイド付きで廻つて来た。

青梅市立総合病院に勤務して25年、10年以上勤務した医師には、費用の一部を支給し、2週間の海外研修の機会を与えるという制度の恩恵に浴したのである。

情報が発達した今日、アッと驚ろくほどの発見はなく、殆んどが、本で読んだり、絵や写真やテレビで見た覚えのある光景ばかりだつたが、現場

で本物を見たという経験は貴重であった。

§見学記

見学した施設については、病院に提出した「復命書」に報告したので、詳細は省略するが、「病気になる人は誰でも、助けてもらう権利がある」という言葉が、ウィーン大学医学部付属病院（AKH）のパンフレットに引用してあったこと、（この権利意識が日本に及べば、まず、救急医療にぶつかってくるのではなからうか。）「最終目標は健康な長寿であって、寝たきり老人を減らすには、医療の前に、生活様式の改善が必要と考えている」と、WHO（世界保健機構）の日本人医師が言ったこと、笹川良一氏が、WHO唯一の日本人の銅像になっていること、（多額の寄付をしたためであるらしい。）フランスの公的病院では、中央から派遣された事務官が、院長として経営責任を負い、医師は診療に専念していることなどが、印象に残った。

§三角屋根

中世の町で知られるハイデルベルグやローテンブルグやディンケルスビュールなどの西ドイツの町だけでなく、ヨーロッパの都市のあちこちには、古い三角屋根の建物の外観が保存され、或いは再建されていて、昔の町の面影を濃く残していた。その赤い瓦屋根には、（日本の瓦屋根もそうだが）人の心を落ち着かせるものがあり、暫らくの間は、アメリカ式のビルがいかに高層でも、屋根が平らである限り、安っぽく見えて仕方がなかった。

ローテンブルグで泊ったホテルは、狭い建物の中に古い家具や調度品が一杯で、手塗りの壁にまでいろいろ掛けてあり、これぞ今日、日本で流行のペンションの元祖かと思われた。ベッドは天蓋付きだが、ベルサイユ宮殿で見たのとは正反対の素朴な木製であり、要するに、ペンキを塗った木の箱の中に布団が敷いてあるような物だった。それでも、いいベッドに寝かせてもらったな、と他の連中に羨ましがられた。

§第三の男

先日、映画「第三の男」で有名な俳優オーソン、ウエルズの死が報道された。あの映画の舞台になったウィーンの下水道の出口の直ぐ上に、我々の

泊ったホテルがあった。そこからは、丁度、神田上水のような川になっていて、下水といっても、浄化されて無臭透明になった水が流れていた。映画に出た下水道の入口であるマンホールも現存していて、観光名所のひとつになっているそうである。

旅行社では、「第三の男」にちなんだ企画として、あの遊園地の大観覧車に乗った後、今は数少なくなったチターを弾く老人の居る料理店に、案内してくれた。チターはギターよりも悲しく、深味とあたたか味のある音色だった。勿論、名曲「第三の男」も聞かせてくれた。

例の川の隣は公園になっていて、夜、くろぐろとした森の奥から聞こえてくる音楽につられて、暗い道を辿って行ったら、明るく照らされた広場で、それこそ本場のウイナ・ワルツを踊っていた。さすが、あちらの「盆踊り」は優雅なものだった。

ホテルに帰ってテレビをつけたら、「アンタッチャブル」をやっていたが、ネスがドイツ語でしゃべっていた。日本語のネスに馴れた耳には、何ともへんだった。（ジュネーブのテレビでも、西部劇でジョン・ウエンが、ドイツ語でやっていた。）さすがは国際俳優、世界中、どこに行っても、その国の言葉でしゃべっているらしい。

§窓の花

以前、スイスの絵や写真を見ると、どの家にも、窓辺に赤い花の鉢が置いてあるので、大変奥ゆかしいものだと感心していた。今度、ヨーロッパをバスで走ってみると、スイスだけでなく、西ドイツでもオーストリアでも、山に近い地方や田園の真只中の小さい部落でも、そうであった。ガイドの話では、道を通る人を楽しませるためだけでなく、その花の芳香が虫よけになるという実利も兼ねているとのことだった。虫よけ効果があるとならうと、とに角、奇麗だった。赤い花もよいが、夏には青い花が涼しそうで、尚よかった。壁の色も、花の色と調和していた。

§グリンデルワルドにて

アルプスの山の古い絵を見た時、山の形が余りに奇怪に描かれているので、こんな山があるのだろうか、見る眼が違うのだろうか、と不審に思っ

た記憶がある。

グリンデルワルドに着いた時は小雨で、岩山の天辺は雲の中だったこともあり、家々の直ぐ後ろに、ヴェツターホルン・シュレックホルン・アイガーと並んで突っ立つ姿は、なるほど奇怪であった。あちこちで見て来た古い教会堂を連想させた。むしろ、このように天に向ってそそり立つ岩山の、威圧するようなきびしい形を、昔の人が教会堂の建築にとり入れたのかも知れない。

翌日、登山電車でユングフラウヨッホに登ったが、岩のトンネルを出てみると、外は雲の中で、その上には日が照っているらしく、あたりは眼が痛くなるほどに輝く純白の世界で、お目当てのユングフラウの頂上どころか、全く何も見えなかった。アイガーワンドの上の窓の外も、物凄い雪のシャワーが落ちてくるばかりで、白一色だった。

上は既に氷雪にとざされた冬山だが、中腹は、目をなごませる若草色の牧草地帯で、そのうす緑は谷底まで続き、そこには濃い緑の木立や、オモチャのように見える家々が点在している。以前、スイスの絵や写真を見て、こんな美しい所がこの世にあるのだろうか、写真うつりがよいだけではないのか、と疑っていたが、その絵や写真の通りに実在しているのだった。

夕方、一寸の間雲がきれて、夕陽に輝くヴェツターホルンの頂上を食堂の窓から見つけ、声を上げた途端に、岩壁の上部から大きななだれが岩溝を落下して、盛大な雪煙を上げて、グロスシャイデク近くの緑の中に、真白い雪を押し出した。

翌朝、小雨の中をバスはベルンに向って出発した。道ばたの小川を、雪どけの灰色に濁った水が、あふれんばかりに勢よく流れ下っていた。

§モン・ブラン

ガイドの話によれば、ゲートもジュネーブから見るモン・ブランを好んだという。ジュネーブに着いた日、レマン湖の北岸から向う岸を見ると、湖畔に立ち並ぶ三角屋根付きビルの後の、なだらかな丘の彼方に湧く夏雲の間から、それより白い、文字通りに白い山、モン・ブランが見えた。東京から富士山を眺める程度の見え具合だが、ヨーロッパアルプスの最高峰を、実際に見た喜びがこみ上げて来た。翌日は更に晴れて、WHOやILO（世界労働機構）の屋上に上ったら、赤十字本社

の右手に、モン・ブランの純白な姿があった。そんなに山が見たいなら、とILOの日本人職員の方が、ジュネーブの古い町を通過して、モン・ブランが一番よく見える場所まで、連れて行って下さった。望遠レンズで、山ひだのひとつひとつまで見えるモン・ブランを始め、それから左に続く本場のアルプス連峰を眺め、ユングフラウを間近に見ることができなかった残念さが、大分やわらいだ。

§パリにて

ジュネーブから乗ったフランス新幹線(TGV)は、定刻、全く何の合図もなく走り出し、(ヨーロッパでは、発車の合図というものはないのだろうか。グリンデルワルドの登山電車もそうだった。)あっけなくパリのリヨン駅に着いた。車窓に飛び去ったフランスの田園風景は、油絵のように重厚に見えた。これに較べると、ドイツ、オーストリア、スイスの田園は、ドイツ製の精巧なカメラで撮ったカラー写真にふさわしかった。(カレンダーなどで見馴れているためだろうか。)

リヨンの駅は、プラットフォームが何本も並んでいて、上野の駅に似ている。そう言えば、モンマルトルの岡から望んだパリ市街の眺めも、上野の山から見下ろした東京の下町を、連想させた。但し、パリの眺めの方が、少しばかり広大だった。又、上野の山には美術学校があるが、モンマルトルにも「画家の広場」というのがあって、広場というには余りに狭い小公園のようなところで、画家が観光客相手に、似顔絵を描いたり、スケッチを並べて売っていた。

パリでは、ルーブル、凱旋門、エッフェル塔(登らず)、ノートルダムと、定食のようなコースを廻ったが、自由時間に、OECD(経済協力開発機構)日本代表部のちに、「ルーブルで中世の絵を見たのなら、今度は近代の絵をお見せしましょう」と、オランジェリー美術館に案内された。

途中、現代芸術の殿堂というポンピドー、センターの前を通ったが、建築現場に原色を塗ったような異様な姿に、とても消化できそうもないし、時間もないので素通りした。近代美術館は長蛇の列だったが、7年間、改修のため閉鎖されていたというオランジェリーは、その直ぐ近くの閑散としていた。しかし、印象派の巨匠の絵はひと

通り揃っているし、何よりも、モネの睡蓮の大作があった。

高さは2メートル位だが、全部つなげれば、巾90メートルになるという睡蓮の池の大壁画が、長円形の2部屋の壁面一杯に、はめこまれている。こんなに大きな絵巻物を見たのは初めてであり、こんなに落ち着いた展示場も初めてであった。これ程までに睡蓮に打ち込んだ老年のモネの情熱に、

圧倒されるばかりだった。

先日の朝日新聞日旺版の「世界名画の旅」に、この睡蓮のことが載った。日本人は、ルーブルのモナ・リザを来日させたが、いくら何でも、この睡蓮を日本に持ってくることは、難しいんではなからうか。自分は実際にこれを見たのだ、という喜びを味わいつつ、その記事を読んだ。

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|--------------------------------------|--|---|--------------------------------------|---|---------------------------------|--|---|----------------------------|------------------|
| 会 は ん か な 幽 魂 の 声 を き く 思 ひ し て 霊 墓 に あ り | 二 百 餘 万 慰 霊 の 祭 靖 国 に 詣 づ る | 「 千 鳥 ケ 淵 墓 参 」 | 見 は る か す 樹 相 の 異 変 所 々 に 頭 は る | 酸 性 雨 の 被 害 も 迫 り 来 る か と 樹 相 見 つ む る | よ そ の こ と な ら で | 暖 か く 紅 葉 の 気 配 鴟 高 啼 け り | 「 酸 性 雨 被 害 」 | 萩 の 花 一 枝 を 手 折 り 根 づ け と じ つ と 見 つ め て | 秋 川 の 流 れ に 浮 か ぶ 児 等 の か ざ せ る 芒 穂 の 上 に | 「 晚 秋 雑 詠 」 | 小 泉 新 策 |
|---|--|--------------------------------------|--|---|--------------------------------------|---|---------------------------------|--|---|----------------------------|------------------|

10月号を編集して

石井先生の欧州医療視察旅行記を拝読して、第一章ナイス・ランディングから終章パリにて、まで僅か3ページの文章に外科医らしい冷静な観察眼が輝いており、Vividな映像が思いうかぶのである。それもその筈、10月の編集会議で先生の撮影されたカラースライドを数百枚見せていただいたので、印象は鮮烈。居ながらにしてヨーロッパ旅行を楽しむことができました。

さて、福生市休日診療所10周年を取材して、ひとつの医師会事業の区切りを見ることができ、今後の我々の行動指針、あるいは助言を得た思いがする。

何事を成すにも、行動の主体は誰であれ、問題提起をする人、分析する人、批判反対する人、協力する人、各々が事業の一翼を担って進んでいくものだと思感したしだいです。

また石井旅行記に戻りますが、§見学記の章にある「病気になった人は誰でも、助けてもらう権利がある」(AKH)、また「最終目標は健康な長寿であって、寝たきり老人を減らすには、医療の前に、生活様式の改善が必要」(WHO職員)、それと笹川良一氏の銅像、このいずれもが我々にとって示唆的であり深く考えさせられる。あとがきにかえて。 村山

診療報酬明細書返戻状況

8月分

| 返 戻 理 由 | | 医科(乙表)件数 | | | |
|---------|--|----------|-----|-----|-----|
| | | 青 梅 | 福 生 | 秋 川 | 西多摩 |
| 1 | 保険者番号、記号○番号、公費負担者番号、市町村番号、受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致 | 28 | 10 | 7 | 21 |
| 2 | 旧証の記号○番号 | 2 | 5 | 1 | 0 |
| 3 | 患者名、生年又は生年月のもれ | 23 | 1 | 0 | 1 |
| 4 | 傷病名のもれ | 5 | 2 | 1 | 1 |
| 5 | 診療月分、診療開始日、診療実日数、転帰のもれ | 9 | 3 | 1 | 2 |
| 6 | 診察料(初診、再診、往診又は時間外等の表示)のもれ | 2 | 2 | 0 | 1 |
| 7 | 診療月と診療開始日及び初診料の不一致 | 12 | 0 | 1 | 2 |
| 8 | 診療実日数と診察回数又は処方回数の不一致 | 6 | 4 | 1 | 7 |
| 9 | 投薬○注射(薬名、規格単位、用量、回数)の不備 | 5 | 1 | 1 | 1 |
| 10 | 処置○手術○検査○X線(薬名、回数、内訳)の不備 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 11 | 入院料の不備 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | 点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明 | 1 | 2 | 1 | 3 |
| 13 | 契約外(国保、国鉄、公費等) | 0 | 3 | 0 | 1 |
| 14 | 症状詳記(診療内容及び方針の説明等付せん参照) | 3 | 1 | 0 | 0 |
| 15 | 医療機関(薬局)の申し出によるもの | 3 | 1 | 2 | 0 |
| 16 | その他 | 3 | 3 | 0 | 0 |
| 計 | | 104 | 38 | 16 | 41 |

理事会報告

10月臨時理事会

昭和60年10月8日(火) 7:30 P.M. ~

西多摩医師会館

議事録署名人 { 塩沢 理事
東 理事

I 会長あいさつ

- 日航機墜落事故関連群馬県医師会の活動
- 都がんセンターにおける治療行為
- 青梅簡裁調停委員に土田先生(青梅)

II 報告事項

- 三多摩地区医師会懇親会について
 - 京王プラザと接衝(資料7)中村 理事
- 西多摩学校保健連絡協議会報告
 - (資料6)東 理事
- 新生児B型肝炎ワクチン接種について
 - 10月半頃に細目判明か 松原 理事
- 各部報告

学校医部

塩沢 理事

- 市民向医学講演会について
- 多摩医学会役員会について
- 学術講演会予告について

福祉部

植田 理事

- 新年会の準備について
- 地域医療推進委員会について

公衆衛生部

松原 理事

- 母子保健保改正について
- 妊娠前婦人検診について
- 3ヶ月、3才児検診の市町村委管について

学校医部

東 理事

- 学校医担当理事連絡会について

産業医部

高木 理事

- 産業保健連絡協議会について
- 労働保険事務組合入会のすすめについて

III 協議事項

- 青梅保健所健康増進指導事業の医師派遣に

ついて

- 高木 直先生にお願いする
- (2) 地域精神衛生連絡協議会委員選出について
 - 青梅から江本、川辺、佐々木各先生及び塚本先生（東青梅病院）山下先生（東京青梅病院）羽場先生（市立総合病院）
 - 福生地区から中村、西村、松原各先生
 - 精神科代表として植田、江本両先生
- (3) 「医療懇」話題について
 - 学校保健連絡協（東理事）
 - 災害時医療（中村理事）
- (4) 「医療協」開催について
 - 胃がん検診について
- (5) 学校医表彰について
 - 三枝 進先生を推奨
- (6) 福生保健所胃がん検診今後の方針について
 - 医師会としては地域住民のことを考えて検診車による検診を主にして実施すべきであると主張
- (7) 入退会 — 全員承認 —
— 以 上 —

10月定例理事会

昭和60年10月23日（水）

西多摩医師会館 7:30 P. M. ~

議事録署名人 { 高木 理事
石井 理事

I 報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告

瀬戸岡会長

- (1) 第72回日医臨時代議員会
 - 日医ニュース 10, 20参照
- (2) 第10回ニューヨーク／東京医学学会議について
 - 61年5月開催予定、参加希望者は医師会事務局まで
- (3) 地方医療協議会について
 - 高度先進医療の承認について（日医雑誌 10, 15 参照）
- (4) 厚生省の行う薬価調査に対する非協力について
 - 日医常任理事会非協力決定
- (5) ファクシミリの設置状況について

- 48医師会中、加入29 未加入17
- (6) NHKの広報紙について
 - 「いい暮らし いいはなし」という広報紙が医療機関数だけ送られてくる
- (7) 第2回学校心臓病予防全国大会について
 - 11月16日（土）市ヶ谷、日本大学会館で（4年に1回開催）
- (8) 昭和61年「医療税制に対する意見」について
 - 特例措置存続、休日夜間非課税を要求
- (9) 地区医師会からの報告
 - 昭和60年度防災訓練について
ショウの性格強く不評（下谷医師会）
 - 江東区における難病検診について
深川、城東医師会ボランティア活動
小冊子配布
- (10) 医政連支部長会報告
 - 後援会について

2. 三多摩地区庶務担当理事連絡会報告

大塚 理事

- 予防接種の禁忌について
- 乳幼児ツ反、B. C. G. 実施に関連する母親の結核検診について
- 保険診療事業税問題に関する各地区の取り組み状況について
- ファクシミリ利用状況について
- 保健所健康増進指導事業に対する各地区の対応について
- 読売新聞の医師紹介記事について他
- 3. 「医療懇」報告 江本副会長
 - 10月12日（土）下田プラザ
学校保健協議会構想、休日救急医療等
- 4. 「福生保健所胃がん検診事業」に関する東京都医師会長へのお願について
大塚 理事
 - 可動型重装備胃癌検診車として
- 5. 各部報告
 - 総務部（大塚） 三多摩医師懇親会について
 - 広報部（堀田） 都医調査委員会の報告
 - 学術部（塩沢） 講演会について
 - 保険部（木野村） 11月2日保険講習会の事
公衆衛生部（松原）
インフルエンザワクチン調査について

- 薬価基準の一部改正について
- 都の行う小児心臓病検診の実施について
- 60年度「40才からの健康週間」の実施について
- 青梅市立総合病院宿日直表
- " CPC案内
- 都特殊疾病患者診断手引
- 特殊疾病（難病）患者の治療及び生活指導手引
- 学術講習会
- "
- 宮崎秀樹後援会加入活動の促進について
- 会報
- 「東京都医師会学術講演会」の開催について
- 東京都リハビリテーション医師研修会の実施について
- インフルエンザウイルスの検出について
- 第2回学校心臓病予防全国大会の開催について
- 私立学校保健（学校医）研修会の開催について
- 三多摩医師会懇親会の案内
- 保険講習会開催

同好会だより

第49回 西医ゴルフ研修会

兼第19回西狛対抗戦

昭60年9月8日（日）

高麗川C.C.

微風、快晴と絶好のコンディションに恵れ、各人かなり好スコアが出ました。

ネットでは細谷先生（狛江）がたゞ一人アンダーパーを出されましたが、初参加の為、準優勝となり、高麗川C.C.の地主である大嶽先生がベスト優勝に輝きました。

なお、団体戦では狛江医師会が4打差で優勝しました。

今回も高水先生に無理を云って、高麗川を確保して頂きました。どうも有難うございました。

（足立）

| | O | I | G | HD | N | |
|-------|------|----|-----|----|-----|-------|
| 大嶽 | 41 | 42 | 83 | 9 | 74 | 優勝 |
| 細谷 | 51 | 45 | 96 | 25 | 71 | 準優勝 |
| 大河原 | 50 | 49 | 99 | 24 | 75 | 3 |
| 足立 | 45 | 41 | 86 | 11 | 75 | 4 |
| 保坂 | 50 | 48 | 98 | 23 | 75 | 5 |
| 山口 | 44 | 44 | 88 | 13 | 75 | 6 |
| 堤 | 46 | 52 | 98 | 22 | 76 | 7 |
| 岩瀬 | 42 | 45 | 87 | 10 | 77 | 8 |
| 近藤(玲) | 50 | 44 | 94 | 17 | 77 | 9 |
| 杉本 | 50 | 46 | 96 | 17 | 79 | 10 |
| 佐藤 | 47 | 49 | 96 | 17 | 79 | 11 |
| 松岡 | 44 | 50 | 94 | 14 | 80 | 12 |
| 内山 | 49 | 44 | 93 | 12 | 81 | 13 |
| 松原 | 49 | 50 | 99 | 18 | 81 | 14 |
| 葉山 | 48 | 47 | 95 | 13 | 82 | 15 |
| 近藤(正) | 54 | 51 | 105 | 23 | 82 | 16 |
| 近藤(高) | 42 | 54 | 96 | 9 | 87 | 17 |
| 青井 | 52 | 61 | 113 | 24 | 89 | 18 |
| 沖 | 49 | 54 | 103 | 12 | 91 | 19 |
| 川崎 | 59 | 55 | 114 | 22 | 92 | 20 |
| 川島 | 60 | 62 | 122 | 30 | 92 | B. B. |
| 丸茂 | 61 | 68 | 129 | 29 | 100 | 22 |
| 高水 | N. R | 53 | | | | |

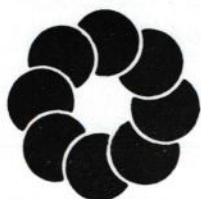
第122回 西多摩医師会ゴルフ大会

昭和60年10月27日（日）日本晴の好天気の中なかで7名が参加して行なわれた。途中北風が強くなり、帽子を吹きとばされたりしながら熱戦がくりひろげられた。中村先生がBG優勝。成績は次の通りであった。12月の忘年コンペは賞品を豪華にしてやろうということになった。

| 氏名 | アウト | イン | グロス | ハンデ | ネット | ランク | 新ハンデ | |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 中村 | 47 | 40 | 87 | 17 | 70 | 優勝 | 13 | BG |
| 三井 | 55 | 51 | 106 | 36 | 70 | 2 | | |
| 鈴木 | 46 | 48 | 94 | 13 | 81 | 3 | | |
| 内山 | 51 | 45 | 96 | 13 | 83 | 4 | | |
| 大河原 | 50 | 59 | 109 | 23 | 86 | 5 | | |
| 江本 | 51 | 49 | 100 | 14 | 86 | 6 | | |
| 大橋 | 67 | 75 | 142 | 36 | 106 | 7 | | |

くらしの知恵と情報を

ホームバンクの埼玉銀行



埼玉銀行

青梅支店 (TEL 0428-22-1101)

東青梅支店 (TEL 0428-22-2121)

青梅支店
奥多摩特別出張所 (TEL 04288-3-2515)

福生支店 (TEL 0425-51-1021)

村山支店 (TEL 0425-61-1211)

五日市支店 (TEL 0425-95-1311)

河辺支店 (TEL 0428-24-2401)

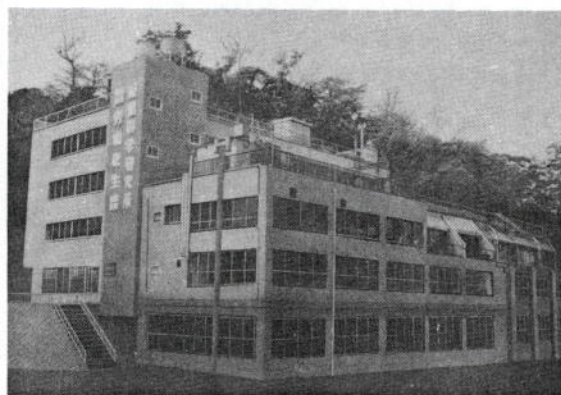
臨床検査センターの雄 保健科学研究所

横浜市保土ヶ谷区神戸町106

電話 045 (333) 1661 (大代表)

八王子市子安町3-17

電話 0426 (26) 2203・2204



○総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。

○完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)

○関係医療機関 約 3,500ヶ所

○広範囲な検査内容

- 内分科学検査 ●免疫学検査 ●ウイルス検査 ●生化学検査 ●血清学検査 ●血液学検査
- 病理組織検査 ●細胞診検査 ●重金属検査 ●水質検査

！都川県の御得意先を毎日定期的集配致します。御一報を御待ち致しています。